

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年10月29日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年10月29日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【計測器(デジタルハイテスタ)の精度不良について】 協力企業で使用している計測器(デジタルハイテスタ)2台の校正において、一部機能の精度不良を確認。 なお、当該計測器の精度不良である機能の測定は、実施していなかった。	GⅢ
2	【3号機燃料健全性確認治具の状態表示不良について】 3号機燃料健全性確認治具の動作確認において、治具2台について実際の動作状態と異なるランプの点灯及び消灯を確認。 原因調査中。	GⅢ